

令和7年9月19日

学校法人山崎学園

東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校

令和6年度 学校関係者評価 報告書

東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校は、本校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動の状況について自ら行う点検及び評価を実施し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめました。

- 基準 1 教育理念・目標
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 学修成果・教育成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生の受入れ募集
- 基準 8 教育の内部質保証システム
- 基準 9 財務
- 基準 10 社会貢献・地域貢献
- 基準 11 国際交流

基準 1 教育理念・目標

- ・教育理念・目標について、学校要覧・学校案内・ホームページ・学生の手引きに明示されていて、学校内外に広く周知が図られていて問題はない。
- ・実習施設・備品の充実は職業実践的な技術を修得するためにとってもよいと思う。
- ・専門的な知識等の修得のため、検定試験受験等で学生のスキルアップを図り、また、社会に出たときのための人材育成など、身に付く教育がなされている。
- ・サービス業の核心は人間形成そのものであるため、人と接する喜びを学べるよう指導してほしい。

基準 2 学校運営

- ・学校運営は概ね良好で成果も上げていると思う。
- ・カリキュラムの見直しを行いながら、授業がなされていると思う。学校の意思決定や教育研修のあり方については、今後も検討を続けてほしい。
- ・人事評価について、昨今の世の中を考えて、しっかりと基準を作成しておくことで、万が一の労働問題が発生の際には対応できると思う。
- ・学校の理念・目的を達成するため運営方針に沿った事業計画が毎年作成され、適切に行われている。
- ・人事、賃金等の制度の整備は進んでいないが、教職員の指導力向上のための研修や専門分野の技能向上のための研修を毎年組織的、計画的に行っている。

基準 3 教育活動

- ・授業のなかで、自分が将来属する企業と地域社会の結びつきを認識し、貢献する意識付けをしていただくように配慮してほしい。
- ・外部関係者の意見を良く聞いており、日々教育活動を実施されていることに対し評価する。
- ・実践や活動も取り入れた教育内容も見られるので有益な教育効果が期待できる。
- ・業界からの情報を取り入れ、教育課程編成に反映されているのは評価できる。
- ・資格取得を第一とし、ホスピタリティ、コミュニケーション能力をさらに高める工夫をするとよい。

基準 4 学修成果・教育成果

- ・卒業生と継続的に情報交換をすることで、現状把握に繋がると思う。
- ・就職率や資格取得については、おおむね良好だと思うが、その後の動向（離職・再就職など）は一考されたい。
- ・就職活動に際し、業界出身の先生にアドバイスをもらえるのは心強い。また結果を出していると思う。

基準 5 学生支援

- ・就職支援については特に力を入れていただきたい。県外からの学生に対する生活環境支援も大切だと思う。
- ・授業科目にキャリアデザインを設置し、会社訪問、面接等でとても役に立っていると思う。学生が自信をもって就職活動に挑めると思う。
- ・キャリアデザインは大切なことだと思う。さらに学生の視野が広げられるよう工夫してほしい。

基準 6 教育環境

- ・学校の立地は、静かな周辺環境の中にあると思う。図書については、学生の希望を聞くことが大切である。
- ・教育上必要となる施設・設備は整っていて、メンテナンスも必要に応じて実施しているので特に問題はない。
- ・防災体制も整備され、所轄の消防の協力のもと訓練が実施されていて問題はない。

基準 7 学生の受入れ募集

- ・志望者にとって必要な情報は学校案内・募集要項等に記載され、問い合わせや、相談については広報担当者を中心に適切に対応できているので問題はない。
- ・体験会等で、先輩の学生や卒業生の話を聞けたりすることで、学校についてだけでなく卒業後のことも知ることができ、学校選びのポイントになると思う。
- ・ネット等による情報発信の強化が必要である。在校生の体験や感想も大切な情報である。

基準 8 教育の内部質保証システム

- ・卒業生の就職後の動向については、職員で情報共有した方がよい。
- ・少子化による学生数減少が続くが、入学者数の確保のための具体的対策が必要と思われる。
- ・会計監査は独立監査法人により適正に行われ、理事会、評議会に報告され適正な会計監査が行われている。

基準 9 財務

- ・専修学校設置基準等の法令を遵守した適正な学校運営がなされ、学生への啓発も行って特に問題はないと思う。

基準 10 社会貢献・地域貢献

- ・企業、教育機関等との連携が図られているが、さらなる連携を期待したい。
- ・今後も強い信念のもと、優れた人材を育成し、業界の発展に貢献してほしい。

基準 11 国際交流

- ・国際交流、留学生の受け入れについて、学校運営に直結する難しい課題ではあるがホテル業そのものがグローバルな考え方を基軸に成り立っている生業である。
インバウンドの増加、国際交流が進むなかで、今後ますますクローズアップされる課題である。
- ・少子化の時代、留学生の受け入れは推進すべき課題であり、受け入れ態勢の確立を急ぐべきではないか。
- ・現在、国を挙げて外国人労働者の推進を行っているが、言葉の壁や理念などを考えると難しい点が多い、個人的には、国内にもう少し目を向けて発掘をしたいと考えている。
- ・言葉の問題があるので、慎重に検討することが必要である。
- ・留学は難しいので、外部の協力団体と連携して取り組んでほしい。

実施日：令和 7 年 3 月 31 日

学校名： 東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校

令和6年度 学校自己点検・評価票

1. 学校の教育目標

学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、明るく便利で幸せな生活環境を提供するサービススタッフを養成し、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を輩出することを目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校のいかなる学生も平等かつ公正に教育を受けることが出来るような環境整備・体制作りを行い、ハンデキャップ等がある学生でも学び続けることができる機会を均等に提供することを目

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カテゴリー	適切4 ほぼ適切3 やや不適切2 不適切1				エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	4	③	2	1	学則 学校要覧 学校案内
1	1	2	学生・保護者に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	③	2	1	学生生活の手引き
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	③	2	1	学則 学校要覧
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	③	2	1	学校案内
1	1	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	4	③	2	1	授業計画 学校案内 HP
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか （学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	4	③	2	1	授業計画 学校案内 HP
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	③	2	1	授業計画 学校案内 HP

① 課題

特になし

② 今後の課題

特になし

③ 特記事項

特になし

2 学校運営				カテゴリー	適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1				エビデンス例
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的に沿った運営方針が策定されているか	A	4	③	2	1	学校案内
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	B	4	③	2	1	学校案内
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定共有しているか	A	4	③	2	1	職員会議
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年間行事予定表
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	3	②	1	寄付行為
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	③	2	1	学校要覧
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に行われているか	B	④	3	2	1	職員会議
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	健康診断通知書
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	安全衛生委員会議事録
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	教員資格証明
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	④	3	2	1	初任者研修
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	③	2	1	学生アンケート
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	③	2	1	学校要覧
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	研修報告
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	4	③	2	1	研修報告
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	校長面談

2	4	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	③	2	1	研修報告
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	4	③	2	1	職員会議
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	③	2	1	講師会議
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	②	1	
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	私立学校施行規則
2	5	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか （情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	③	2	1	

① 課題

教員に対して、専門能力開発の計画作成が不十分。

意思決定や人事評価に関する決定プロセスに不明瞭な部分があり、明確化されていない。

② 今後の改善方策

各教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れた教職員研修計画書を作成する。

学校長を中心とした学校運営に注力し、スムーズな意思決定をはかれるよう改善を行う。一方で、給与体系に関しては、専門学校という性質上、前職での経験を考慮する必要があるため、今度の課題として残る。

③ 特記事項

特になし

3 教育活動				カテゴリー	適切4 ほぼ適切3 やや不適切2 不適切1				エビデンス例
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4	③	2	1	H P
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4	③	2	1	授業計画
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	③	2	1	学生生活の手引き H P
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	教育課程
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	授業計画表
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	④	3	2	1	授業計画表
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	④	3	2	1	H P
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	④	3	2	1	学生アンケート 授業点検表
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	③	2	1	授業点検表
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	③	2	1	学生アンケート
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	③	2	1	学生アンケート
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	③	2	1	教育課程編成委員会

3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	夏期インターンシップ、インターンシップ評価表
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	実習・演習等において連携する企業等の一覧
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	④	3	2	1	夏期インターンシップ
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	学生生活の手引き 学則・細則
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	③	2	1	学生生活の手引き
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	成績判定会議
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	成績単票
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	4	③	2	1	授業計画表
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	B	④	3	2	1	授業計画表 夏期講習
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	③	2	1	キャリアデザインの授業
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	③	2	1	高校ガイダンス

① 課題

成績評価・単位認定等について、保護者に周知が不足している部分がある。

② 今後の改善方策

成績評価・単位認定等について、保護者向けの説明会等を行う。

③ 特記事項

成績評価・単位認定等について、学生生活の手引きに詳細を表記した。

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	適切4 ほぼ適切3 やや不適切2 不適切1				エビデンス例
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	④	3	2	1	期末試験 補講・再試験
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	④	3	2	1	授業計画表 授業点検表 成績単票
4	1	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）						
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	④	3	2	1	職員会議
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	職員会議
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	④	3	2	1	就職活動証明書 就職活動報告書
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	④	3	2	1	学校案内 HP
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	4	③	2	1	夏期講習
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	③	2	1	授業計画表
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1	授業計画表
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	③	2	1	検定結果報告書
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	4	③	2	1	HP
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	3	②	1	定着支援

① 課題

就職後の動向については担任ベースでしか把握できておらずその方法もまちまちである。

② 今後の改善方策

校友会を活用して全卒業生に定期的な聞き取り調査を行うと共に必要に応じて面談等を実施する。

（校友会：卒業時に全卒業生が加入する OB・OG 会）

③ 特記事項

特になし

5 学生支援				カテゴリー	適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1				エビデンス例
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	③	2	1	学生生活の手引き
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか	A	4	③	2	1	担任制度 就職部
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	④	3	2	1	担任制度 スクールカウンセラーによる面談
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	学生指導報告書 スクールカウンセラー面談記録
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	奨学金説明会
5	4	2 1	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	4	③	2	1	学生健康診断
5	4	4 1	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	③	2	1	夏期インターンシップ、インターンシップ保険
5	4	4 2	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	4	③	2	1	山崎学園アパート その他アパートの斡旋
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	4	③	2	1	学生指導報告書 職員会議
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	③	2	1	職員会議
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1	職員会議
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	③	2	1	H P
5	6	中項目	保護者との連携（保護者・保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保護者と適切に連携しているか（保護者のニーズを把握しているか）	A	4	③	2	1	父母の会（一斉メール、懇親会）

5	6	2	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	3	②	1	父母の会（懇親会、体験授業）
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	③	2	1	就職部、担任
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	4	③	2	1	就職部、担任
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	③	2	1	

① 課題

保護者との計画的な相談会・面談が不十分である。

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

6 教育環境				カテゴリー	適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1				エビデンス例
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	4	③	2	1	教育課程、時間割
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	3	②	1	図書目録
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	③	2	1	教室および実習室一覧
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	③	2	1	学生生活の手引き
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	③	2	1	衛生委員会
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	③	2	1	衛生委員会
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	4	③	2	1	夏期インターンシップ
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	③	2	1	インターン実施要項
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	③	2	1	防火管理規定
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	4	③	2	1	防火管理規定 防犯カメラ
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	③	2	1	避難訓練
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	A	4	③	2	1	衛生委員会

①課題

学生が利用できる参考図書・関連図書は担任レベルでの管理になっている。

②今後の改善方策

学科ごとに定められた場所、方法で管理し広く学生が利用できるものにする。

③特記事項

特になし

7 学生の受入れ募集				カテゴリー	適切4 ほぼ適切3 やや不適切2 不適切1				エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	③	2	1	学校案内 募集要項、HP
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	4	③	2	1	学校案内 募集要項、HP
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	4	③	2	1	学校案内 募集要項、HP
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	③	2	1	学校案内 募集要項、HP
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	4	③	2	1	HP 電話対応
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	4	③	2	1	学校案内 募集要項、HP
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	A	4	3	②	1	AO入試家庭学習 課題
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	④	3	2	1	学校案内 募集要項、HP
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	④	3	2	1	入試記録
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	募集要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	募集要項

①課題

入学予定者に対して事前の学習指導・支援等は行っていない。
（AO入試合格者のみに対し入学前学習指導を行っている）

②今後の改善方策

全入学予定者に対して事前の指導や相談等ができる機会を設ける。

③特記事項

特になし

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切4 ほぼ適切3 やや不適切2 不適切1				エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	学則・細則
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	③	2	1	教育課程編成委員会
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	学則・細則
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	個人情報に関する就業規定
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	③	2	1	個人情報に関する就業規定
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	③	2	1	個人情報に関する就業規定
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	③	2	1	自己点検・評価表
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	4	③	2	1	自己点検・評価表
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	③	2	1	自己点検・評価表
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	③	2	1	学校関係者評価委員会
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	職員会議
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	3	②	1	定着支援
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	自己点検・評価表 職員会議
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	自己点検・評価表 職員会議
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1	学校関係者評価委員会・職員会議

8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	授業計画点検表
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	③	2	1	H P
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	4	③	2	1	H P
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	③	2	1	H P

① 課題

就職後の動向については担任ベースでしか把握できておらずその方法もまちまちである。

② 今後の改善方策

校友会を活用して全卒業生に定期的な聞き取り調査を行うと共に必要に応じて面談等を実施する。
（校友会：卒業時に全卒業生が加入する OB・OG 会）

③ 特記事項

防災・防犯について、校内の各所に防犯カメラを設置した。

9 財務				カテゴリー	適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1				エビデンス例
9	5	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	③	2	1	財務諸表
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	③	2	1	設備導入申請書
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	③	2	1	財務諸表
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	③	2	1	会計監査
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	③	2	1	定例理事会・評議員会
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	③	2	1	HP
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	4	③	2	1	HP

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切4 ほぼ適切3 やや不適切2、不適切1				エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	③	2	1	学園設備利用許可書、高校生見学会
10	2	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	B	4	③	2	1	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	ボランティアチラシ・ポスターの掲示

①課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

特になし

1 1 国際交流（必要に応じて）				カテゴリー	適切 4 ほぼ適切、 やや不適切 2 不適切 1				エビデンス例
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	4	3	②	1	
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	4	3	②	1	
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	4	3	②	1	
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	4	3	②	1	

①課題

留学生受け入れに関する体制そのものが整っていない。

②今後の改善方策

体制作りを進める。

③特記事項

特になし